

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	令和2年10月5日(月) 午後7時00分から午後9時20分まで
開 催 場 所	吉川市役所301・302会議室
出席委員(者)氏名	堀田聡子委員、戸張英男委員、中里繁守委員、佐藤幸子委員、飯田大輔委員、長谷川健一委員、柳澤一之委員、峯健二委員、雨宮文範委員、染谷直志委員、菊池純松委員
欠席委員(者)氏名	相羽直人委員、長棟美幸委員、近江谷キヌ子委員
担当課職員職氏名	健康長寿部 部長 鈴木昇 長寿支援課 課長 鈴木康雄 課長補佐兼高齢福祉係長 豊田敏昭 課長補佐兼介護給付係長 石塚晶則 介護認定係長 菅原歩 高齢福祉係主任 浅子千尋 介護給付係主事 一ノ瀬優輝
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 議事 (1) 在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告 (2) 在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果からの検討 (3) よしかわ地域包括ケア計画(第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画)の実施状況からの検討 (4) 吉川市介護保険事業の概要 (5) 第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本理念について (6) 第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子について 3 その他 4 閉会 公開
非公開の理由(会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	令和2年度第1回吉川市介護福祉推進協議会次第 吉川市介護福祉推進協議会委員名簿 在宅介護実態調査報告書 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書 在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果からの検討事項 よしかわ地域包括ケア計画 第7期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の実施状況からの検討事項 吉川市介護保険事業の概要 吉川市介護保険料基準額の推移

	資料1 (第7期) 計画の基本理念、地域の理想像等 資料2 第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子案について 資料3 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュール(変更) 資料4 令和2年度第1回介護福祉推進協議会委員事前質問・意見
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	柳澤一之委員、峯健二委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	1 開会
事務局	只今から、令和2年度第1回介護福祉推進協議会を開催します。 はじめに、市長からご挨拶をお願いします。
中原市長	(あいさつ)
事務局	堀田会長からご挨拶をお願いします。
堀田会長	(あいさつ)
事務局	今回からの出席となる柳澤委員、菊池委員の紹介、後任職員を紹介します。 (柳澤委員、菊池委員、後任職員を紹介) 本日の会議資料の確認をお願いします。 (不足資料の確認)
事務局	議事に移ります。司会は堀田会長をお願いします。
堀田会長	出席委員は、14名中11名で過半数に達しており、会議が成立することをご報告します。 議事録署名委員を、柳澤委員、峯委員をお願いします。 吉川市市民参画条例により、本会議は公開となりますが、本日は傍聴希望の方はおられません。 それでは議事に入ります。
	2 議事
	(1) 在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告
堀田会長	在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料「在宅介護実態調査報告書」、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書」、委員からの事前質問・意見について説明)

堀田会長	委員からの事前質問にもご回答いただきましたが、このほかにご質問はあるでしょうか。
委員	(質問なし)
堀田会長	ご意見、ご感想があればお願いします。
峯委員	要介護1から5、要支援1・2はどのように認定され、担当する部署はどちらでしょうか。
事務局	要介護認定は、本人・家族からの市へ申請により調査を行うとともに、主治医の意見書により、吉川市介護認定審査会で介護度を判定します。
峯委員	認定の申請に際し、制限はあるのでしょうか。誰でも申請できるのでしょうか。
事務局	65歳以上の方は、病名にかかわらず、介護保険サービスによる介助が必要な方には申請していただいています。40歳から64歳の方は、国による特定疾病に該当する方には申請していただいています。
峯委員	認定を受けている方たちの管理は、どちらの部署でしょうか。認定者の介護度別の人数も把握しているのでしょうか。
事務局	長寿支援課の介護認定係で介護認定審査会の事務局も担当し、要介護度別の人数も把握しています。
柳澤委員	3圏域ごとの課題が明確に出ていると感じています。無回答が多いので、改善していく必要があると思います。
堀田会長	地域ごとに特徴があるご指摘いただき、議題の(2)以降にも通じるところだと思います。次回の調査の際には、無回答を減らす努力をしていただきたいとのご指摘でした。
	(2) 在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果からの検討
堀田会長	在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果からの検討について、事務局より説明をお願いします。
事務局	(資料「在宅介護実態調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果からの検討事項」について説明)
堀田会長	ご質問、ご意見がありましたら、お願いします。
佐藤委員	認知症の認識、低栄養、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局について高齢者に働きかけていますが、ピンとくる方もいればこない方もおり、このような数値になるのだと思います。 世帯把握による適切なサービスの利用支援については、地域包括支援センターでも危惧しています。地域包括支援センターでは要支援の方でサービス未利用の方は把握していますが、要介護3以上で介護保険サービスの未利用者の方を把握することはできません。 状況の把握と同時に早急な対応が必要になるケースもあるので、ご検討いただ

堀田会長	<p>きたいと思います。</p> <p>サービス未利用世帯の把握、適切な利用への支援についてご意見をいただきました。</p>
飯田副会長	<p>在宅医療や終末期の対応について、具体的な方法に落とし込まないといけないと思います。どのように死にたいか、経管栄養など、比較的元気な時から、気軽に話し合える環境をつくるのが大事だと思います。吉川市としての取り組みができたと思います。</p> <p>認知症の理解促進では、認知症は「怖い」というイメージがあり、認知症になっても地域で生活していけることを、どのように伝えていくかが重要だと思います。</p> <p>就労の継続支援は、介護保険にはないので、見守りや声かけで就労が継続できるのか、要支援でも働くことができるということを考えられたらと思います。</p>
堀田会長	<p>在宅医療や終末期の対応について、具体的なプランがあるのでしょうか。まずは進める必要があるということでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的なプランまではできていませんが、委員からのご意見も踏まえ、素案を検討していきたいと考えています。</p>
堀田会長	<p>認知症についての理解の促進と、認知症予防には、一次予防、二次予防、三次予防とありますが、どのように共に生きることを実現できる地域社会にしていくのかという観点から留意していただきたいと思います。</p>
戸張委員	<p>かかりつけ歯科医についての認知が7割ということで、認知が進んできたと思います。予防歯科についての意識はまだまだと思われるので、歯科医師会としても予防歯科の意識を高めていきたいと思います。</p>
中里委員	<p>在宅医療については、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、そして薬局がタッグを組んで進めないと、進まないと思います。</p> <p>終末期の患者への対応をどのようにするか、中央病院の緩和ケアの医師と研修会を開催しています。</p>
長谷川委員	<p>自治会では、要支援、要介護の方が何人いるのか分かりませんが、教えてはもらえないと思いますが、災害関係では資料が回ってきます。吉川市は若い方が多いので要介護者は少ないと思いますが、近所には要介護の方はおられます。</p> <p>自治会の会合でも、集会所がないため、みんなで集まる機会もなく、認定者の状況について話をしたことはありません。</p> <p>自分自身も高齢となり、いろいろ勉強してみたいと思いますが、そのような機会がありません。自治会単位の活動など、どのような方法があるのか、実際に取り組んでみたいと思います。</p> <p>家族で終末期の話はすることはありますが、みなさんのご家庭ではされているのでしょうか。どのようになった時に、どのようにしたらよいかはよく分かりません。</p>
堀田会長	<p>家族で終末期の対応の話をするごとの手ごたえが必要なかもしれません。</p>
柳澤委員	<p>連合長寿会では、今回はコロナの影響で実施できませんでしたが、高齢者の単身世帯、2人世帯、家族との同居世帯と分け、お声かけ訪問を年に2回実施しています。</p> <p>高齢者が困っているのは、移動の「足」に困っています。いろいろな方面から</p>

	<p>声かけし、集いの機会をつくること、隣組などで、コミュニケーションをとれる場を提供することが必要です。</p> <p>コロナ禍でどのように対応するか試行錯誤していますが、いろいろな方面からご協力いただきたいと思います。</p>
堀田会長	<p>移動に伴う困難についてあげていただいたほか、コロナ禍の対応については、議事の（６）の第８期の計画の骨子の中に入っているか見ていきたいと思いをます。</p> <p>（３）よしかわ地域包括ケア計画（第７期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）の実施状況からの検討</p>
堀田会長	<p>よしかわ地域包括ケア計画 第７期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の実施状況からの検討事項について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（資料「よしかわ地域包括ケア計画（第７期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画）の実施状況からの検討事項」について説明）</p>
佐藤委員	<p>「意見２」の「（１）」の「日常生活サポートサービス」を利用することにより、介護保険の訪問介護サービスを利用しないですむ方が多くおられます。</p> <p>単身の方が増え、閉じこもりが心配されますが、「（４）」の「ふれあいデイサービス」は、介護保険の通所介護のサービスに近く、これらを利用することにより、介護保険サービスの利用を抑えられると思います。</p>
堀田会長	<p>骨子や計画案の中で、ご意見の「（１）」や「（４）」のサービスも含めて検討できればと思います。</p>
雨宮委員	<p>民生委員も要介護者の状況は詳細に把握していませんが、各家庭を回る中で感じ取るしかありません。訪問の際にふれてよいのか悪いのか悩み、こちらからは強制的には聞かないようにしています。</p> <p>家にこもってしまう方にいかに外に出てもらうかは、今はコロナの関係で外に出てほしいと言えないので、なるべく運動だけはしてほしいと伝えています。</p> <p>今も、声かけだけは一生懸命行っていますが、無理なところが多いと感じています。</p>
菊池委員	<p>スポーツに参加していない方が44.6%とありましたが、これらの方にスポーツを楽しんでもらうかが課題です。スポーツ推進課とスポーツ推進員で、サークルに入るまではどうかなという方を対象に、体育館や指定場所で「Goスポーツ」を前期5回、後期5回開催しています。そしてよければサークルに参加していただいています。それらを今後活用できればと思います。</p> <p>自治会活動をしてみたい方が4割ぐらいおられますが、自治会でもなまらん体操、グラウンドゴルフをしています。新規参加者が増えないのでPRしていきたいと思いをます。</p>
染谷委員	<p>スポーツの好きな方、散歩が好きな方、家で本を読むのが好きな方がいるので、それぞれの団体の活動を活発にさせていただき、その人に合った団体に参加してもらえれば良いと思いをます。</p> <p>４ページの認知症に関する理解度の促進で、キッズサポーターとして中曽根小学校で養成を実施しているのを初めて知りました。若い方から年配の方までサポーターとなり、街中で認知症と思われる方を見守る目を増やしていただければ、事故などが減らせると思いをます。</p>
堀田会長	<p>さまざまな活動団体があることを知らせる努力をすること、認知症については</p>

	<p>世代を超えて学び、気軽に声をかけられる雰囲気をつくる必要があるとご指摘いただきました。</p> <p>(4) 吉川市介護保険事業の概要</p>
堀田会長	吉川市介護保険事業の概要について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(資料「吉川市介護保険事業の概要」について説明)
委員	(意見なし)
	<p>(5) 第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本理念について</p>
堀田会長	第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本理念について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	(資料1 (第7期) 計画の基本理念、地域の理想像等について説明)
堀田会長	第7期の理念を第8期も継承するか、変更を加えるかも含めて、ご意見をいただければと思います。
飯田副会長	<p>資料1の53ページの3段落目からのところが、より重要になってきているので、その取り組みの振り返りが必要だと思います。</p> <p>地域福祉計画や障がい福祉計画、再犯防止計画など分野ごとに計画があり、生活困窮者も含めて、どこに横串を刺して施策を展開するのか興味があるところで</p>
堀田会長	<p>資料1の第3節については、これまでの振り返りがされていませんが、次の議題の資料2の骨子案の第6章で基幹型地域包括支援センターの設置に結び付いていくと思われます。</p> <p>資料1の第3節の振り返りについて、事務局から何かあればお願いします。</p>
中原市長	<p>第7期の計画は、高齢者の福祉計画、さらには地域の福祉計画としても策定していただいたと考えており、この2年間施策を進めてきました。</p> <p>資料1の53ページの「地域共生」には、高齢者、障がい児・者、子ども、地域というキーワードあります。</p> <p>障がい者では、三郷市、越谷市の特別支援学校の先生を交え、障がい者の支援団体、民生委員、保護者、農業従事者などにより、地域の課題を検討する検討会を立ち上げ、障がい者全員にアンケートを行い、農福連携、グループホーム設立などを進めてきました。</p> <p>現在、千葉大学と連携し、高齢の方や障がいのある方でも働ける産業としての農業、ナマズの養殖、果実栽培にチャレンジし、モデル的なものをつくれるように進めています。</p> <p>子どもたちには、美術協会や舞踊協会の方に、放課後こども教室で子どもたちに絵や踊りを教えていただいています。指導者である高齢者と子どもたちが、踊りや絵画を通じてコミュニケーションをとり交流を深めています。</p> <p>演劇事業に参加された方がリーダーとなって、高齢者の方の集まりに参加し、台詞や笑い怒りなど表情によるワークショップを行っており、介護予防につながっています。</p> <p>これまでの取り組みは、まだ十分ではないため、今回の計画策定の委員には、美術協会、スポーツ推進員、農業の方に参加していただき、総合的な計画として進められるよう、各分野からご意見をいただいて第8期の計画が策定できればと</p>

	<p>考えています。</p>
堀田会長	<p>資料1の54ページに、重点テーマの絵が描かれていますが、市長から重点テーマ1、2について進捗のお話がありましたが、重点テーマ3の複合課題に対応する相談体制づくりでは、何らかの進捗があるでしょうか。</p>
事務局	<p>地域福祉の担当部署で、全体的な断らない相談という視点で、来年度以降、どのように対応するか検討を行っています。</p>
堀田会長	<p>国全体としても、「断らない相談」「参加の支援」「地域づくり」について、子どもも、障がいのある方も、高齢の方も、生活困窮の方も、さまざまな方に展開できる事業が進められるところです。</p> <p>吉川市でも、地域福祉の担当により、包括的な相談体制づくりに向けて進められているようです。</p>
	<p>(6) 第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子について</p>
堀田会長	<p>第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(第8期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の骨子について説明)</p>
佐藤委員	<p>地域包括支援センターの体制については、数字で出ているものと、各包括が肌で感じているものとを擦り合わせをして、方向性を決めていかれるのがよいと思います。</p> <p>第3包括では、中川台のように高齢化率が60%を超えるところもあれば、美南のように少ないところがあり、日本の縮図のようなところを担当しています。どのように地域を分担するか、細かく検討していく必要があると思います。日常生活圏域ニーズ調査結果も加味して、日常生活圏域の見直しがあげられていると思います。</p> <p>地域包括支援センターの体制の強化では、内容にもよりますが、1人あたりが担当する人数はどれぐらいが適当なのかの考えていただかなければなりません。</p> <p>要支援の利用者を通して地域の課題を見据えていかなければならず、担当する人数、展開する事業の内容を掘り下げる必要があると思います。</p>
堀田会長	<p>第6章の第1節については、地域包括支援センターの意向、地域の成り立ち、地域による調査結果の違いを踏まえ、具体化を図っていただきたいということだと思います。</p>
峯委員	<p>文化連盟は、コロナ禍で事業ができなくなり会員の集まる機会がなく、高齢者であるため外出が怖くなっています。第8期の中に、今回のような強力な外敵、不測の事態が起こった時の対応も、どこかに盛り込むような計画にはできないのでしょうか。</p> <p>今までは平時の環境の中で行ってきましたが、今は世の中が複雑になり、目に見えない制約が増えており、この事業計画にも影響すると思います。そのような場合の対応を計画の中に入れられれば、柔軟性がでてくると思います。</p>
堀田会長	<p>第8期の計画策定の基本指針では、新型コロナウイルス感染症対策なども加えられています。</p> <p>各委員からもコロナ禍への対応についてご指摘いただいているので、何らかの形で吸収していただけたらと思います。</p>

雨宮委員	民生委員は地域包括支援センターと連携しており、地域包括支援センターの大変さが一番感じており、かなり負担をかけていると思います。今の人数で今後も継続できるのか、そのような問題も考える必要があります。
堀田会長	第6章だけではなく、第5章においても地域包括支援センターの役割を果たしていけるような応援も含めて、盛り込めればと思います。
飯田副会長	高齢者になるということは、障がい者になるということであり、障がい者の計画との横串を刺して展開していく必要性を感じています。 市役所の中にもいろんな相談窓口があり、ワンストップでの対応を考える必要があると思います。 第7章基本目標Ⅱの(6)高齢者の権利擁護では、成年後見だけでなく、虐待を未然に防ぐようにお互いをトリートメントすることも記載しないと、今後増えていくと思われます。 基本理念で幸福の実現を目指し、理不尽な理由で辛い思いをしない、地域での生活を継続できる吉川市をつくる具体的な施策にしていきたいと思います。
堀田会長	第7期の基本理念は「高齢者の幸福実感の実現」ですが、誰もが普通の暮らしができるために、第3節の重点テーマを実態化する方策を具体化し、障がいや子ども、困窮、災害防止などさまざまな施策に係るところがあるため、その紐づけを庁舎内でも行うことで、地域包括支援センターだけに負荷がかからないようにすることにもつながると思います。
飯田副会長	再犯防止計画は努力義務ですが、吉川市ではどうされるのでしょうか。
事務局	再犯防止計画は、地域福祉課が担当部署となるため、確認し次回報告いたします。
堀田会長	さまざまな窓口がありますが、どの窓口でどのような相談を受け、どのような困りごとがあるのか、どこの窓口が一番負荷が高いのかなど、棚卸をする必要があると思います。
中里委員	第1章の第1節で、令和7年(2025年)は65歳以上人口が増えることを踏まえた策定と思われるが、令和22年(2040年)を見据えるというのは、どのようなことからでしょうか。
事務局	国の基本指針において、2040年を見据えた計画策定を行うことが示されています。
中里委員	2025年では、65歳以上が5人に1人ぐらいになる状況です。 第3章の医療に関する啓発活動の推進で、医療体制をどのようにするかは医師会の意見もうかがい、具体的に検討していく必要があると思います。
堀田会長	次期計画においても、在宅医療に関しては医療関係者、多職種の意見を具体的にうかがいながら、盛り込んでいければということだと思います 第7章基本目標Ⅲの中に在宅医療と介護連携の強化、市民理解の促進が入っています。
堀田会長	本日の意見を踏まえて、次回は計画の素案になると思います。 基本理念については、特段の異論がなかったのでこのままを前提としつつ、他の施策領域と紐づけをしつつ進められるか、第3章に新たに追加されたところにはご意見をいただき、医療に関しては関係者と具体的にご議論を深めてはとご意

<p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>飯田副会長</p>	<p>見をいただきました。 第5章、第6章では、断らない相談体制として、地域包括支援センターと具体的な議論が必要だと思われます。 このほかに何かありましたら、事務局をお願いします。</p> <p>次回では、今回のご意見を踏まえて、骨子案を文章化し、素案をお示ししたいと思えます。</p> <p>3 その他</p> <p>(資料3 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定スケジュール(変更)について説明)</p> <p>4 閉会</p> <p>(あいさつ)</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和2年10月20日</p> <p>署名委員 自 署 署名委員 自 署</p>	